

しこう
今月の思考コーナー！
What do you think?

待った！

じょうほう
言われるがままに情報を受け止めるな！
「へえ、そうなんだ…」で終わるな！

たし
自分で調べ、本当のことを確かめよう！

1. 「地球温暖化」は本当だと思いますか？
2. 「地球温暖化」が本当だとすれば、あなたとはどう関連していますか？
3. 気象庁（日本とアメリカ）の調査データは本当に信じていいですか？

下の表の中に次の単語を見つけ出しましょう！
JOHN・THINK・PARKOUR・FRESH・LAND
WATER・TAMPA・WHO・FAST・CARBON・WET
(ルール：左から右・上から下・左上から右下)

F	R	S	H	M	G	E
A	J	U	A	T	E	V
S	O	F	U	D	F	I
T	H	I	N	K	X	W
A	N	T	A	M	P	A
C	S	E	H	W	E	T
E	A	F	O	H	T	E
P	A	R	K	O	U	R
G	R	E	B	A	X	D
S	O	S	E	O	B	S
W	E	H	L	A	N	D
U	F	R	V	B	F	R

- 1) タンパの雷 <https://www.florida-backroads-travel.com/>
- 2) 雷のあと <https://media.wtsp.com/>
- 3) 炭素循環 <https://eo.ucar.edu/>
- 4) 丹後の湿地
「宮津市大フケ湿原」 www.pref.kyoto.jp/
- 5) 丹後の湿地 www.kyoto-be.ne.jp/
- 6) 図 <https://www.justfacts.com/globalwarming.asp>



京丹後市教育委員会事務局
学校教育課

平成30年10月

エイドリアン

好

奇

号

10

月

号

やっぴいよ〜こわいよ〜



誰か地球を助けてあげて！

今月のスター:
ジョン・マギー
John McGee

今月みなさんに紹介する人は、アメリカのフロリダ州のタンパ(Tampa) からいらつしゃったジョン先生です！ジョン先生は現在、大宮中学校・大宮第一小学校・大宮南小学校で英語を教えています。アメリカで「環境科学者」として働いていたジョン先生は、今年の8月に家族(妻のKathyと息子のKail)と一緒に来日しました。さて、ジョン先生の話聞いてみましょう！



マギー家

Q: 日本語を勉強し始めたきっかけは何ですか？

A: 日本語について興味が湧いたのは、大抵のアメリカ人と同様にアニメでした。その気持ちはやがて、その素晴らしい芸術(アニメ)を生み出した「日本文化」への関心になり、日本についてもっと深く知りたいと思いました。

Q: 日本へは何回訪れましたか？

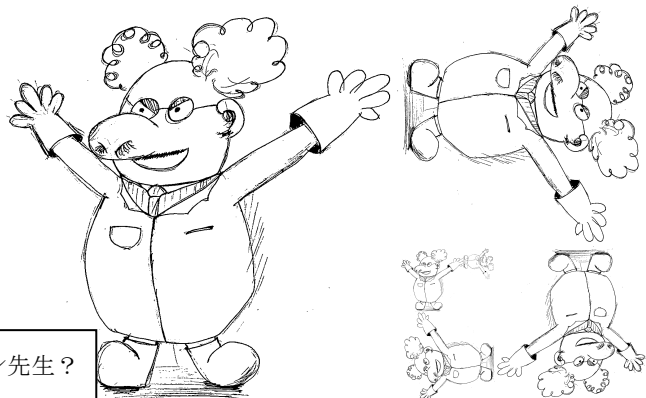
A: 2000年に日本で働いていた友達と、1ヶ月ほど日本の生活を体験しました。「この1ヶ月だけじゃ足りないんだ！」と思って、2004年から2005年の1年間「ALT」として長野県で働きました。1年を終えて、息子(当時2才)のために帰国し、それから「環境科学者」の仕事に戻り、今年の8月に再び日本に来ました。



環境科学者のジョン先生

Q: 趣味は何ですか？

A: 私はじっとすることが苦手です。機会があれば外に出て、体を動かしたいです。特にアウトドアアクティビティーが好きです。ハイキングに行ったり、泳いだりして、以前「パルクール・トレーニング」もしていました。その他、モノを作ることも好きです。



ジョン先生？

タンパ (TAMPA) : カミナリの都へ！

タンパがアメリカの「カミナリの都」と呼ばれている理由は、アメリカにおいて雷の発生が一番多いためです。タンパでは一年間のうち1/4が雷が落ちる日です。そして年間約25名の死傷者が雷による死傷者です。今年(2018年)の6月までに、すでに5名が落雷によって死亡しました。



①タンパの雷



②雷のあと

「雷鳴が聞こえれば、既に落雷に打たれる範囲にいる」
Brain Lamarre (ラマレー氏)
アメリカ国立気象局気象学者

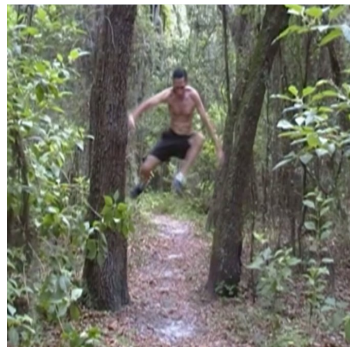


タンパ

フロリダ州

「パルクール(Parkour)」とは…

元々は軍事訓練として使われ、極めて複雑な地形の中で、身体機能を最大限に活かし、障害物を乗り越えます。走る、跳ぶ、登るといった移動動作に重点を置き、現在はスポーツ、もしくは身体の鍛錬となっています。



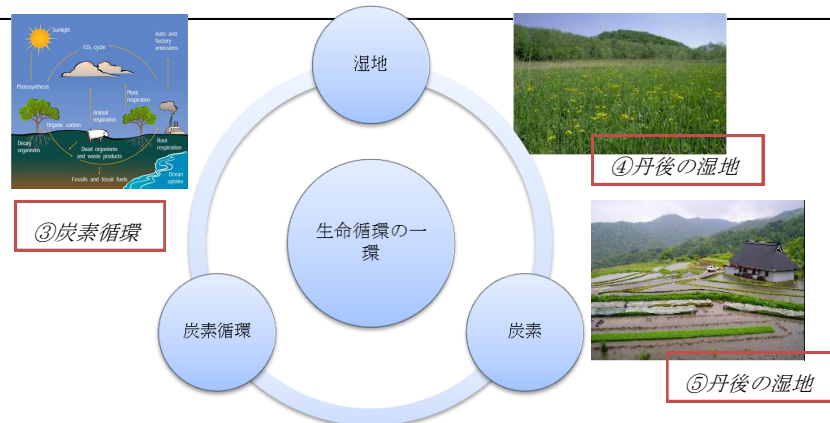
パルクールをしているジョン先生

かんきょうかがくしゃ

環境科学者 Environmental Scientist

環境科学とは：

環境科学とは、自然環境、社会環境など、人間の生活に関わる環境と人間、動植物の関係について研究する分野です。物理学、化学、生物学、地球科学などからのアプローチにより研究を行い、環境問題に対して対策を提案し、未来を予測するのがこの学問分野の特徴です。汚染コントロールと予防・代替エネルギーシステム・自然資源管理・地球気候変化による災害の調査などが環境科学者の仕事です。その中でも注目されているのは「地球温暖化」という全世界に関わる問題です。ジョン先生の専門分野の一つは、「湿地」に関する研究です。



地球温暖化 (Global Warming)

「地球温暖化」というのは、自然的や人為的なことにより地球表面の温度が上がる現象です。地球は幾度も「温暖化」と「寒冷化」を経験したことがあると言われています。また、近年は地球の表面温度が上がりつつあるという検証がなされました。

影響 (1)

「地球温暖化」による影響は様々ですが、最も顕著なのは水面上昇です。地球の表面温度の上昇により、南北極の氷山が溶けてしまい、海水面が高くなり、海沿いの陸地が海となります。陸地の面積が少なくなり、生物圏に対して大きな影響を与えます。

影響 (2)

もう一つの影響は「異常天候 (Extreme Weather)」です。1960年から2010年の間に観察された「熱波 (Heat wave)」と「干ばつ (Drought)」の日数は上昇しつづけます。実際に今年の夏に、1946年以来最も暑い(日本の記録)熱波が日本に訪れ、140人の命を奪いました。

その他にも様々な影響があります

湿地 (Wetland) :

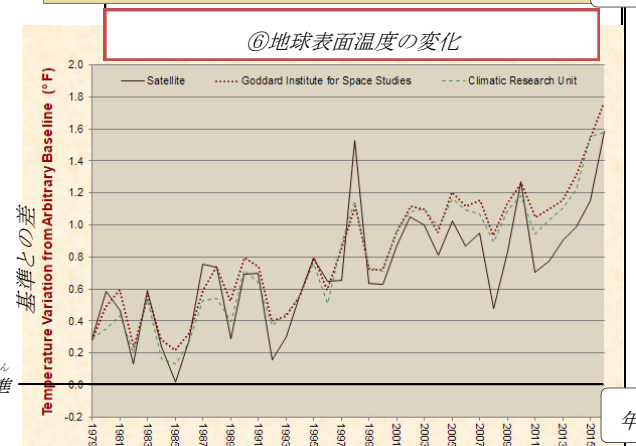
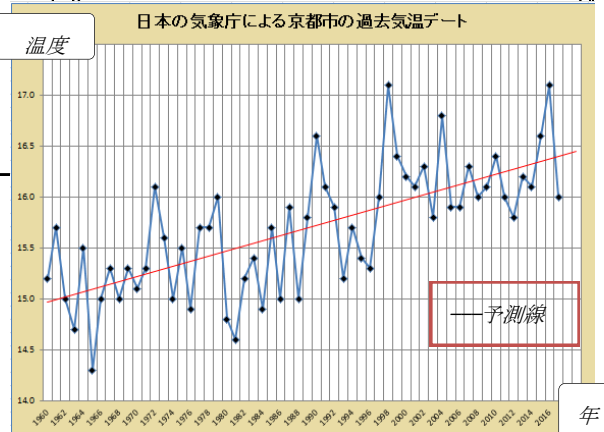
「湿地」は水により長期的、もしくは定期的に冠水する低地のことです。湿地は多くの動植物の生息地でありながら、水質の浄化・貯水・炭素の交換など大切な役割を果たしてくれています。

炭素 (Carbon) :

炭素は生きているもの(動植物も含めて)の構成において不可欠な要素です。つまり我々が生きるために必要なものです。そして炭素の処理、いわゆる「炭素循環」というものはすべての生き物にとって、極めて大切なことです。

炭素循環 (Carbon Cycle) :

地球上の生命を維持するために、生物圏、岩石圏(地球内部のプレートや地層など)、水圏(海・湖・川など)、大気圏(地球中の気体)の間で行われる炭素の循環で、必要な元素(酸素など)とその他の元素(二酸化炭素など)のバランスを保っています。



*科学者が数字を比較するための基準にした値

⑥アメリカの大学や気象庁による調査データ